

第 65 回関東甲信越静学校保健大会に参加して

千葉県学校薬剤師会
常任委員 大野定行

平成 26 年 8 月 21 日 (木) 幕張メッセ 国際会議場にて第 65 回関東甲信越静学校保健大会が開催されました。幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の関係教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、教育関係者など 1000 名を超える参加者で会場は一杯でありました。

本年度は、『『生きる力』をはぐくむ健康教育を目指して』を主題として 幼児・児童・生徒の心と体の健全な発育・発達を目指し、健康教育の当面する課題について研究協議し、その具体的な方策を究明するとともに、健康教育の充実と発展に資する。を目的に開催されました。

午前中は開会式の後、特別講演として増田 明美氏による「自分という人生の長距離ランナー」という題目で行われました。先生方もご存じのように増田さんは、1964 年、千葉県いすみ市生まれ。成田高校在学中、長距離種目で次々に日本記録を樹立し、1984 年のロス五輪に出場。1992 年に引退するまでの 13 年間に日本最高記録 12 回、世界最高記録 2 回更新という記録を残しています。また 2001 年から 10 年間、文部科学省中央教育審議会委員を務められ、現在厚生労働省健康大使として活躍されています。話の中で印象に残ったことを述べたいと思います。

ロス五輪で途中棄権した後誹謗・中傷によりひきこもり、摂食障害にもなられたそうです。その中において多くの人たちからの励ましの手紙、例えば「マラソンは長いけど、人生はもっと長い」「明るさを求めて暗さみず」等により立ち直ることができたそうです。

また、小出義雄さんの話の中で、選手の育て方として 40Km 走の時にはかならず伴走し「いいね」「最高」の言葉をかけ 1Km ごとにタイムを読むそうです。なぜですかと聞くと「本番中だから短い言葉がよい。」「見ていなければ褒めることもできないし、叱咤激励もできない」「具体的に褒めてあげるにはしっかりと観察していないとダメだから」と話されたそうです。最後に先生たちも子供たちの伴走者として接してください。そのためには伴走者にも走る力・指導者としての力も必要となります。これからも生徒のために頑張ってください

と述べられ講演は終わりました。

午後からは班別研究協議会が 5 班に分かれ行われました。

- 1 班 [学校経営と学校保健] 教育目標具現化を目指す学校保健
- 2 班 [健康教育] 生きる力をはぐくむための健康教育
- 3 班 [性に関する指導・エイズ教育及び薬物乱用防止教室] 適切な行動選択の力を育てる性に関する指導。エイズ教育及び薬物乱用防止教育
- 4 班 [学校歯科保健] 生活習慣病の予防等を目指した歯・口の健康づくり
- 5 班 [学校環境衛生と安全教育] 快適な学校環境づくりと実践力を高めるための安全教育

これらの課題で研究協議を行われました。

私は 1 班の協議会に参加してきました。

1. 児童生徒の豊かな心と、たくましく生きる力をはぐくむ、組織的な学校保健活動の在り方ーアレルギー疾患に対する緊急時の組織的対応についてー
2. 家庭及び地域社会との連携による学校保健委員会の在り方の 2 演題が提言され、

第一演題は生徒の一人が「運動誘発性アナフラキシー」と診断されてか、エピペンを所持したことにより学校全体で理解と対応の仕方を協議し、救急講習会「アレルギー対応訓練」を所轄の消防署と連携を取りながら行っていること、養護教諭がいる場合、いない場合。学校外に出たときの対応など細かに訓練内容が設定されており、緊急時に教職員の組織的かつ主体的な判断能力の向上に努めておられ、とても感心しました。

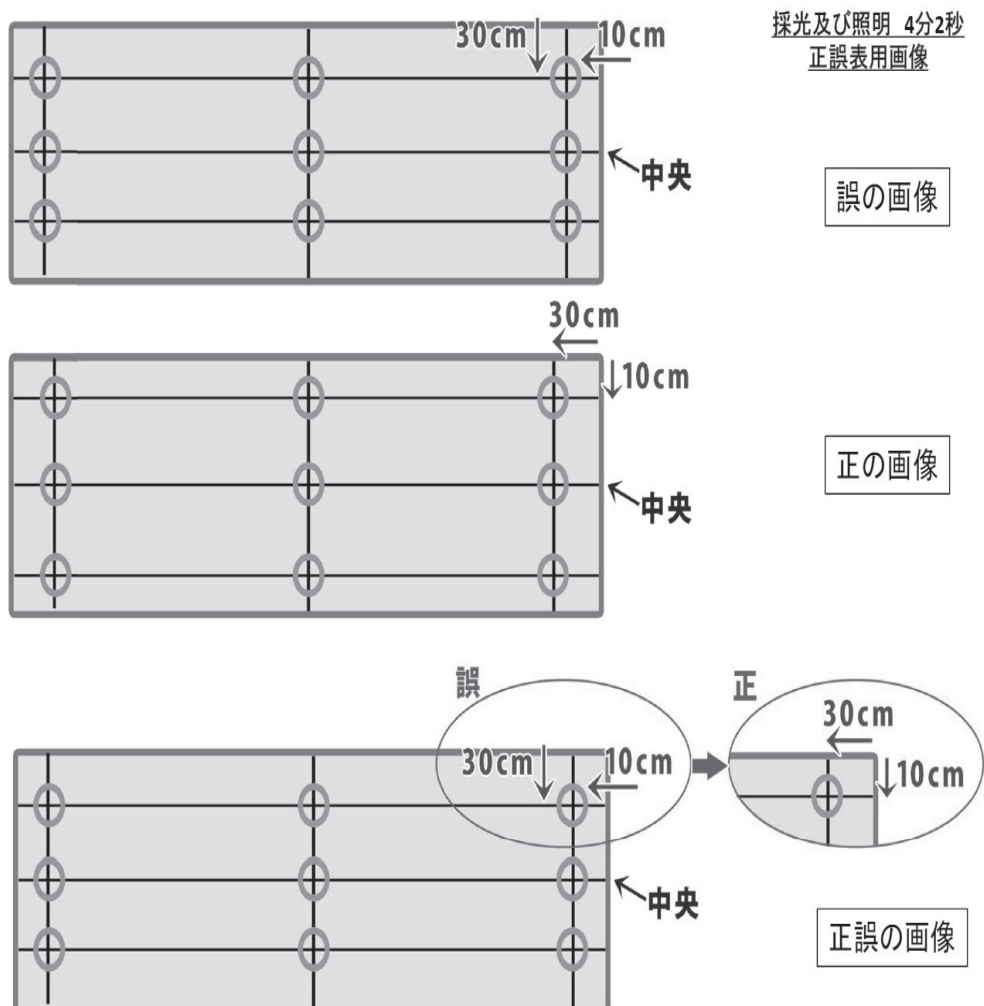
第二演題は中学校区を中心に小学校 5 校が連携し地域学校保健会を立ち上げ、地域とともに児童生徒の健やかな健康を願い実態に合わせた健康教育を進めており、学校・家庭・地域の連携の大切さについて、薬剤師としての関わりについて考えさせられました。

本大会は毎年開催されており、来年度は静岡県が開催県となります。平日の開催となりますがとても有意義な会であり、先生方のご参加をお待ちしております。

会員の皆様へ

日本薬剤師会作成「学校薬剤師支援資料：学校環境衛生検査編」DVD
一部訂正について

先日、各支部長を経由してお配り致しました標記DVDに一部訂正部分があったとの事で、日本薬剤師会から通知がございました。訂正箇所は下記の通りとなります。



平成 26 年度学校保健講習会及び薬物乱用防止講習会 報告

千葉県学校薬剤師会
常任委員 並木佳久

9月28日(日)秋晴れのすがすがしい中、千葉県薬剤師会会議室にて学校保健講習会及び薬物乱用防止講習会が約160名を超える先生を迎え開催された。まず薬物乱用防止教室講習会として、教育新聞社編集局次長 池田康文先生より「脱法ハーブと最近の薬物状況」についてご講演を頂いた。福祉系新聞編集者を経て、教育新聞編集局次長として教育関連などの講演も開催している。「脱法ドラッグ」から「危険ドラッグ」へと名称変更がされ、日々事件・事故報道が散見されている中、報道関係の視点での講演であったため非常に興味をもてた内容であった。

再犯率の多い覚せい剤乱用者に比べ、危険ドラッグ乱用者の約80%が初犯である。その入手先としては約60%が街頭店頭で、約20%がインターネットによる購入である。中高生の約70%がスマホを所持しており、危険ドラッグへのアプローチが安易になっている。また乾燥植物片状、粉末状、液体状、固体状(錠剤)といった様々な形態があり、「合法ハーブ」「アロマ」「リキッド」「お香」等と称して販売され、覚せい剤よりも安価のため入手しやすい。薬物等に対する意識等調査(小5・高3)の結果、薬物は「かっこいい」「気持ちよくなる」「やせたい」など自分の願望を解決してくれる薬物だと思っている子供が少なくはない。「乱用」と言う言葉が複数回繰り返すものと誤解されやすく、一回の使用でも「乱用」になると事を認識させる必要がある。中学生での「危険ドラッグ入手可能性」調査にて平均であるが、全体の15.6%の生徒(千葉県で換算すると1校に63.3人、1学級に4.6人)が入手可能と解答している。薬物乱用ハイリスク群として飲酒・喫煙経験者や自傷行為経験者などが挙げられる。犯罪やモラルの問題として「ダメ。ゼッタイ」を薬物乱用教室で教育するだけでなく、誤った方向・解決策を修正する(=ケアや情動面)アプローチが必要である。

次に学校保健会講習会として(一社)和歌山県薬剤師会学校薬剤師部会委員 西前多香哉先生より「学校における飲料水、プール水の管理について」学校薬剤師として

の対応についてご講演を頂いた。「学校環境衛生基準」では、飲料水に関係する検査対象を次の3つに分類される。(1)水道水を水源と飲料水(専用水道を除く) (2)専用水道に該当しない井戸水等を水源とする飲料水→塩素処理された井戸水 (3)井戸水等を水源とする原水→井戸水・河川水。水道は水道法により区分され、区分に応じて管理内容が異なるため、学校設置者及び管理担当者は当該学校がどの区分に該当するかを知って置く必要があり、学校薬剤師も同様である。それに加え担当校の飲料水の給水方式が、(1)直結給水 (2)貯水槽(受水槽→高置水槽)であるかを知っている必要がある。直結給水の場合は、原則として飲料水供給者により水質検査が実施されており、学校では日常点検が行われていることから、「学校環境衛生基準」における定期検査の対象とされていない。一方、雑用水を利用している学校も少なくない。雑用水を誤って使用したり、飲用しないような配慮が必要である。雑用水の給水管には、雑用水であることを表示し、飲料水の配管との区別を明確する。学校内の給水栓の配管図の確認をしてみてもとの事であった。

プール水用消毒剤の保管については、酸アルカリの異なった薬剤の混合塩素ガス発生防止のため保管徹底、事故時のマニュアル作成など十分注意する必要がある。

最後にノロウイルスへの対応として、擬似嘔吐処理の実習の様子などを収載している

～学校で、薬局で、病院で指導に役立つ～「ここがポイント!ノロウイルスの対応及び注意点」のスライド資料の紹介があった。千葉県学校薬剤師会のHP(http://www.c-yaku.sakura.ne.jp/school/school_top.htm)から入手できるので是非活用して頂きたいとのことであった。

「(一財)千葉県学校薬剤師会検査センターの活用法」について千葉県学校薬剤師会検査センターより実施している各検査の詳細の説明終了後、講習会は閉会した。

「県立校担当者研修会」開催のお知らせ

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、県立校を担当されている学校薬剤師の方々を対象に下記の通り研修会を開催する運びとなりました。
ご出席くださいます方は、下記にご記入の上、
11月20日(木)までにFAX(043-248-0646)にてお送り下さいますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成26年11月30日(日) 13時～15時
場 所：千葉県教育会館 5F 501会議室

※ 県立校のご担当でない方のご参加も可能です。

※ 本研修は(公財)日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師受講シール対象研修
となります。

研修内容：

(13:05～14:00)

「県立高校における検査の要点と注意すべき事項」

講師：千葉県教育庁教育振興部学校安全保健課 副主査 春田洋平

(14:00～15:00)

「学校環境検査の理論と問題があった際の事後措置

—空気検査を中心に—」

講師：愛知県学校薬剤師会 副会長 木全勝彦

----- 切らずに FAX して下さい -----

支部名：_____ 支部 担当校名：_____

氏 名：_____

締切：平成26年11月20日(木)

FAX 043-248-0646